

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	鷲巣 益美 (学内連絡教官 湯川 敬弘)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
中国語の基礎（読む、聞き取る、書く、話す）を総合的に学ぶ。半年真面目に勉強すれば簡単な自己紹介をすることができるようになり、中国語検定準4級程度の力をつくだろう。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：『身につく中国語』白帝社（CDつき） 参考書：授業中に紹介する。

【授業内容とその進め方】
教科書の新出単語と本文および例文の音読、文法説明、訳、練習問題（作文とヒアリング）の繰り返し。テキストにCDはついていますが発音を自力で学習することは難しいので、授業では全体での音読の繰り返しが主になると思う。本文と例文の訳および練習問題は指名して答えてもらうので、準備を怠らないこと。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(1) 出席

全授業回数の三分の二以上出席していれば定期試験を受けることができる。欠席がなければ成績に反映されることもある。遅刻を三回したら欠席一回に換算する。

(2) 試験

小テスト(6月に行う予定)50パーセント、定期試験50パーセント。

(3) 授業中の態度

指名されて全く答えられない場合、一回につき3点を試験の点数から差し引く。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日の12:30から13:00に、非常勤講師控え室にいる。それ以外の場所と方法については相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

中国で使われている文字は、日本と必ずしも同じではない。この授業では「簡体字」という字体と「ピンイン」という発音表記法を学ぶ。テキストには新出単語の意味が載っているが、それはテキストで使われる意味でしかない。中国語をモノにしたければちゃんとした辞書を購入し、いろいろな意味があることを自分でひとつひとつ確認してほしい。

【その他】